

# 私たちの多彩なワークスタイル

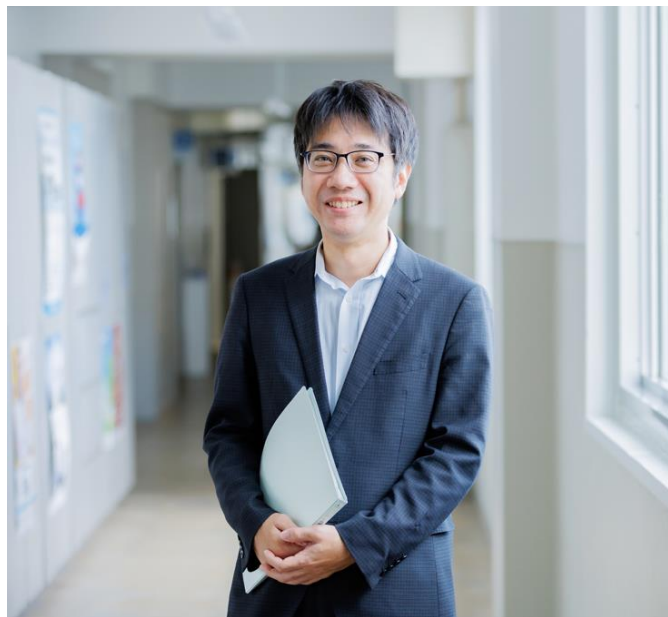
## 行政事務

企画調整部 地域振興課

平成26年度採用

### [職歴]

H26～ 保健福祉部 保健福祉総務課  
H28～ 南会津建設事務所  
総務部 用地課  
H31～ 本宮市派遣  
R3～ 企画調整部 地域振興課



## 福島県職員を志望した理由

東日本大震災発生時には県外に住んでいたため、その時ニュースで見た遠い福島県の状況に衝撃を受け、自分に何かできることはないかと考えるようになりました。生まれ育った福島県で、東日本大震災からの復興に向けた取組に携わりたいと思い、福島県職員を志望しました。

## 業務内容・やりがい

県内の地域おこし協力隊の活動の充実及び定住・定着に向け、市町村の担当者や隊員を対象とした研修会の企画等を行っています。

研修等を通じて関わった隊員が地域で活躍している姿を新聞等で見ることがあり、その度に地域の活性化に繋がっていると実感することができ、とてもやりがいを感じます。

## 子育て支援制度の利用について

生まれたばかりの子どもは昼夜を問わずミルクやオムツ交換等が必要なため、育児を行うのは、とても体力のいる仕事だと実感しました。

大変な時期に夫婦協力しながら育児を行うことができたことや、日々の子どもの成長を感じることができて、育児休業を取得して良かったと感じました。

制度名	取得期間
育児休業	R5.6.1～R5.8.31（3ヶ月）

# 私たちの多彩なワークスタイル

## 職場のサポートについて

男性職員が育児休業の取得することが当たり前の職場環境だったので、悩まずに育児休業を取得することができました。

また、育児休業を取得するにあたり何度も職場で面談等を行いながら進捗状況等の共有を行うことができたので、円滑に仕事の引継ぎをすることができました。

## 休日の過ごし方

休日は家族で出掛けることが多いです。子どもは生き物から電車まで幅広いものに興味があり、最近では、7月にオープンしたばかりの奥会津地域の情報発信施設「奥会津ビジターセンター」へ遊びにいきました。

ツキノワグマの毛皮に初めて触り、剥製でいろんな生き物を観察したほか、只見線のジオラマなども展示されている施設だったので、満足してくれたようでした。企画展もあるとのことなので、また遊びに行きたいと思います。



## 福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



福島県は度重なる自然災害や急激な人口減少など様々な課題を抱えています。少しでも県民の皆様が福島県で安心して生活することができるよう、しっかりと地域の方の声を聴き、いろいろな方と力を合わせながら福島県の復興・地方創生を実現していきたいと思ひます。

## 受験者へメッセージ

「福島県職員」は、人事異動に伴い様々な地域に転勤しながら、各地域の住民の方々との繋がりをつくり、コミュニケーションをしながら地域課題を解決ができる、とてもやりがいのある仕事です。

皆様と一緒に仕事ができる日を楽しみにしています！